

令和5年度第1回江南市子ども・子育て会議 会議録

会議名：令和5年度第1回江南市子ども・子育て会議

開催日時：令和5年5月31日（水） 午後2時から午後3時30分

場所：市役所 3階 第3委員会室

委員：出席委員11人

松尾 昌之（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）
杳名 珠子（その他市長が必要と認める者）
石川 勇男（関係団体の代表者）
伊藤 靖祐（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
今井 真澄（関係団体の代表者）
斉木 英男（関係団体の代表者）
笹瀬 ひと美（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）
白川 裕羽（公募により選定された者）
滝 正直（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
永田 裕美子（関係団体の代表者）
野呂 美鈴（関係団体の代表者）

事務局：坪内 俊宣（こども未来部長兼保育課長）

河田 正広（こども政策課長）
真野 佳子（保育課指導保育士）
栗本 真由美（こども政策課主幹）
間宮 徹（保育課主幹）
横川 幸哉（こども政策課副主幹）
丹羽 克仁（こども政策課副主幹）
大脇 宏祐（こども政策課副主幹）
中山 亨哉（保育課副主幹）
大池 慎治（財政課副主幹）
葛谷 美智子（健康づくり課主査）
田中 なおみ（こども政策課主査）

傍聴人数：4人

議題

(1)江南市子ども・子育て支援事業計画の進行管理について

資料1 江南市子ども・子育て支援事業計画 進行管理

(2)老人福祉センターの建替え・複合化基本方針（案）に関するパブリックコメントの結果について

資料2 パブリックコメントの結果について（抜粋）

参考資料1 老人福祉センターの建替え・複合化基本方針（案）

(3)江南市交通児童遊園の今後のあり方について

資料3 江南市交通児童遊園の今後のあり方について（案）

(4)江南市保育所等の配置に関する基本方針（案）及び江南市立あずま保育園・中央保育園の統合整備（案）に関するパブリックコメントの結果について

資料4 パブリックコメントの結果について

参考資料2 江南市保育所等の配置に関する基本方針（案）

参考資料3 江南市立あずま保育園・中央保育園の統合整備（案）

別添資料 江南市認可保育所（（仮称）あずま・中央統合保育園）整備・運営事業者募集に係る公募要項（案）

(5)保育所等利用調整基準の見直しについて

資料5 保育所等利用調整基準の見直し（案）

(6)育児休業退園の見直しについて

資料6 育児休業退園の見直し（案）について

部長あいさつ

会長あいさつ

議題1 江南市子ども・子育て支援事業計画の進行管理について

事務局説明（資料1）

質疑なし

議題2 老人福祉センターの建替え・複合化基本方針（案）に関するパブリックコメントの結果について

事務局説明（資料2、参考資料1）

質疑

委員 市では学童保育と放課後子ども教室を実施していて、色々な課題があると思うが、出前講座のような、学童保育・放課後子ども教室が一

体となった、ものづくり遊び教室みたいなものがないかなと私自身は思っているので、市も、今後そのような検討をしていただきたい。

事務局 子どもの居場所づくりに関しては、例えば、出張型の児童館の活動など、今、委員から提案のあったような事業についても検討していきたいと考えています。

委員 施設を建設することはもう決定しているのか。

事務局 そのような形で進めています。

委員 文化交流、世代間交流というところが主目的になってくると思うが、この会議でもたびたび市の財政上の問題が話題に上がることもあり、先ほどの出張型の事業などのソフト面の事業や、既存の施設を有効活用した事業を展開して、建物を建設するのはそのあとでもいいのかなと感じる部分はある。

事務局 小学生などは校区外への移動が難しいこともあり、先ほどもご意見をいただいた出張型の事業など、各地域の既存の公共施設を活用してソフト事業を実施し、全市的に展開できれば、とは思っています。ただ、拠点となる施設は必要であり、整備を進めていきたいと考えています。

会長 資料2の1ページに、子どもが利用するフロアと高齢者が利用するフロアを分ける理由は書かれているが、子どもが集まるフロアを3階にする理由は。

事務局 靴を脱いで利用する子どものフロアを1階に配置すると、子ども以外も1階で靴を脱ぎ、2階3階に上がってまた靴を履くということになりかねないので、子どもが利用するスペースは最上階に配置することを検討しています。1階には事務スペースが必要で、貸会議室や高齢者が無料で過ごせるスペースを配置すると面積が不足するためそれらは2階とし、国際交流センターを1階とするよう考えています。ただ今後、設計等に係る予算を計上し発注することになりますが、設計事務所の提案などにより多少の変更もありうると考えています。

議題3 江南市交通児童遊園の今後のあり方について

事務局説明（資料3）

質疑

委員 防災機能を有する公園として整備するということが、具体的にはどのような設備が整備されるのか。

事務局 詳細については、今後検討される予定です。

委員 用地について、今まで年間 1,100 万円の借地料を愛知県に払っており、累積が 4 億円にのぼるということを県は考慮してくれるのか。

事務局 別の部署の担当者が県と協議しているが、これまで支払った借地料分を考慮した売買価格とすることに関しては、難しいと聞いています。決定はしていないので今後も交渉は続けられることとなります。

議題 4 江南市保育所等の配置に関する基本方針（案）及び江南市立あずま保育園・中央保育園の統合整備（案）に関するパブリックコメントの結果について

事務局説明（資料 4、参考資料 2・3、別添資料）

質疑

委員 あずま保育園と中央保育園の保護者から統合について意見はあったか。

事務局 昨年度実施した保護者向けの説明会や今回のパブリックコメントにおいては、施設の統合・民営化に関して保護者の視点からの意見は特にありませんでした。

会長 資料 4 の 6 ページに、送迎に関して、自動車を持たない家庭への影響を心配する意見があり、市の考えとしては、多くの児童が自動車により登園するのが実態で、そうでない児童は少ないということと、これから第 3 期子ども子育て支援事業計画の策定時に保護者アンケートを実施し、送迎の実態を把握して対策を考えるとある。アンケートを実施すれば、全ての保護者が自動車で送迎するということにはならないだろうから、登園に要する時間や、保護者の負担について考えなければならぬと思うが、現時点で何か検討しているのか。

事務局 中央保育園に関しては、駅に近いからこそ、保護者が選んだのではないかということと言われる方もいるが、子どもを送り届けたあとにその足で駅を利用している方は少ないというのが実際のところ。しかし、会長が言われるように数の問題ではなく、課題であるとは認識していますので、今後解決に向けて検討していきたいと考えています。

会長 きめの細かい対応をお願いしたい。

委員 前回の会議でも言ったが、図書館跡地の前面道路は交通量が多く、将来的にも、都市計画道路と接続し交通量がさらに増加することが予想される。今後施設の建設に向けてそうした計画との整合性をとるなど、しっかりと調整して進めていただきたい。

事務局 事業者にも、図面だけでなく現場を把握した上で、十分な駐車スペース

スや、渋滞が発生しにくい動線・経路の確保などによりスムーズな送迎ができるよう提案をしてもらいます。

委員 公共施設の民営化に当たって、事業者との情報共有は非常に大切。市の職員も現場に足を運んで、事業者と一体となって課題解決に当たってほしい。

事務局 市と事業者との間で協議の場を設け、課題を共有し、情報交換などを行っていく予定です。

議題5 保育所等利用調整基準の見直しについて

事務局説明（資料5）

質疑

委員 布袋ぽっぽ園の子どもたちは、全て布袋エリアに住んでいるとは限らないと思うが、布袋ぽっぽ園を卒園したあと、布袋エリアの保育園に転所するのは間違いないのか。

事務局 保護者の意向は確認を取っていませんが、布袋地区は他地区に比べ最低点数が高いため、布袋地区でクリアできるのであれば、他地区の保育園を希望した場合でもクリアできるのではないかと考えています。

議題6 育児休業退園の見直しについて

事務局説明（資料6）

質疑なし